

第1回福井駅西口中央地区市街地再開発事業委員会 協議結果

1 事業委員会の全体スケジュールについて

駅周辺整備を停滞させないため早期に結論を出す必要はあるが、現在の大きく変動している社会経済情勢を見極めながら、拙速とならないよう慎重に行うという観点も必要である。

このため、事業委員会とりまとめの具体的な目標時期は設定しないが、できる作業から迅速に進め、随時協議することとする。

2 検討の枠組みについて

実質的な検討・調査を進めるため、実務レベルのワーキングを設置するが、メンバーは固定せず、検討するテーマにあわせ柔軟に考える。

このワーキングでの調査・研究結果を踏まえ、適宜、事業委員会を開催していくこととする。

3 検討内容について

1) 福井駅西口中央地区に求められる機能について

再開発ビルの完成が、まちづくり全体にどのような好影響を与えるのかが明確にしないと、市民・県民の理解は得られない。

このため、広域的な視点や地域の視点から、本事業に導入すべき機能を再度整理する。

2) 事業の採算性等について

全国的に再開発事業を取り巻く環境が極めて厳しいので、再開発ビル完成後も持続的に経営が成り立つような事業内容にする必要がある。

このため、現計画の事業計画や資金計画の内容を十分検証するとともに、建築費の低減や魅力的なテナント導入のための誘致方法・賃料等について、様々な観点から検討を加える。この際、ビル全体の姿は現計画にこだわらず、分棟案など様々な選択肢に関する比較・検討も行う。